

平成30年度学校評価報告書

平成31年3月25日

北海道教育委員会教育長 様

北海道岩内高等学校長 印

次のとおり平成30年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 伝統や校風を重んじ、知徳体のバランスの取れた生徒を育成する。
- (2) 学ぶ意欲と確かな学力を持ち、たくましく生きる力を身につけた生徒を育成する。
- (3) 生涯を健康に過ごすために自らすべきことを理解して努力できる生徒を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究と授業研究を両輪として、分かる授業を実現するため、「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を図るなど、各教員が意識した良い授業づくりを目指す必要がある。 ・学力が多様な生徒への対応として、成績上位層の生徒を講習等で学力を向上させ、成績下位層の生徒には、学び直しをする体制作りが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な生徒に対して、生徒一人ひとりの進路希望実現のために、学力定着を図ってもらいたい。 ・研修等で具体的な改善策を掲げて、教員の資質向上を図ってもらいたい。 ・家庭学習習慣の確立に向けて、学習の仕方等の指導をしてもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が、学習環境の整備や規律を重んじた指導ができるよう、学年・分掌等の連携を図り、「わかる授業」を基本とした学習指導の実践に努める。 ・授業公開週間によって地域の方々のご意見を伺うとともに、各種研修会へ積極的に参加し、指導方法や評価方法の授業改善を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の生徒指導の基本方針である「時を守り、場を清め、礼を正す」の徹底を図り、高校3年間で社会人として必要な資質を身に付けさせるよう指導の充実を図る必要がある。 ・多様な生徒へ対応した教育相談的指導の充実を図り、不登校やいじめ等の未然防止に一層努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、服装、身なり、挨拶、礼儀を含めて、基本的な生活習慣を確立し、自ら正しく判断し、主体的に行動できる生徒を育てて欲しい。 ・地域、保護者、学校が連携を図り、コミュニケーション能力の育成を中心として、生徒指導を実践してもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・「時を守り」「場を清め」「礼を正す」指導を根気強く行い、徹底を図るとともに、日常の声かけや個人面談等の教育相談的指導の充実を図り、不登校やいじめ等の未然防止に努める。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・講習、模擬試験だけに頼らない継続的な学習指導を行い、多様な進路希望に対応する指導の充実を図る必要がある。 ・総合的な探究の時間も含め、カリキュラム・マネジメントの観点で、3年間を見通したキャリア教育の充実を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望の多様な生徒に対して、ひとり一人を大切にしたいきめ細かな進路指導を行い、進路希望実現を図ってもらいたい。 ・インターンシップの事前・事後指導を含め、地域と連携し、3年間を見通したキャリア教育の充実を図ってもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な探究の時間」の全体計画を作成するため、先進校の学校視察や校内研修を通して、指導内容の確立を図る。また、卒業生による先輩講話や地域の人材を活用したワークショップなどの取組を継続し、3年間を見通したキャリア教育の充実を図る。 	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
健康安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・性・薬物・情報モラル教育・交通安全などについての安全教育を充実させる必要がある。 ・校舎内外の環境を整備し、落ち着いて学ぶことの出来る教育環境を整備させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ問題」、「環境教育」、「がん教育」、「食品ロス問題」、「情報モラル教育」、「消費者教育」等、人間としての在り方・生き方を考えさせるような指導の充実を図ってほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・美化活動の一層の充実と物を大切にすの心の育成に努める。 ・今後も薬物乱用防止・交通安全教室の実施などにより、薬物乱用防止や交通ルールの遵守についての指導を徹底する。 ・必要に応じて、スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラー等の外部機関との連携を図り、課題解決に努める。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年・分掌との連携を深め、教員の協働意識を高め、組織としての指導体制を確立する必要がある。 ・全教職員が経営方針の共通理解のもと、協働して教育活動を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内の連携、教職員間の連携を強化し、魅力ある学校づくりに励んでもらいたい。 ・教職員同士の共通理解を深め、自己研鑽に励んでもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・教員一人ひとりが自己研鑽に励み、学校経営参画意識と互いの連携意識の高揚を図り、活力ある学校運営を目指す。 	
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外の研修の更なる充実により教員の資質向上に努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服務規律保持や教員の資質の向上に努めてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質向上のため、研修への積極的な参加の機会をできる限り確保する。また、昨今の課題に対する校内研修の充実を図る。 	
保護者、地域住民との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの保護者に学校行事等に参加してもらえるように、地域社会、保護者、学校間の更なる連携の充実を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化の取組として、生徒による地域行事等の参加を今後も引き続きお願いしたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA役員会との連携を密にし、多くの保護者に学校行事等に参加してもらえるよう、積極的に働きかける。 ・生徒の地域行事への参加を促し、また、教職員自らが積極的に参加することで、地域住民との交流を更に深める。 	
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・補修が必要な箇所については、適宜保全を図るよう努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の安全確保、良好な学習環境維持に努めてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・各教職員の管理場所の日常的な維持管理に努め、今後も適切な点検・補修・保全に努める。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新やPTAだよりの内容の充実を努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPやPTAだより等、積極的な情報発信に努めてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、PTAだより等の内容充実や報道機関への積極的な情報発信を行い、地域住民等への学校教育活動への更なる理解と関心を図る。 	
公表方法	<p>学校評価報告書、学校関係者評価書（自己評価書を含む。）、自己評価にかかる保護者アンケート集計結果を保護者に配布する文書に掲載するとともに、HPにも掲載する。</p>	

3 添付資料

- (1) 学校関係者評価書(自己評価書を含む。) 「学校関係者評価のまとめ」
- (2) 自己評価にかかる保護者アンケート集計結果 「北海道岩内高等学校の教育に関するアンケート」